

クツワムシ（直翅目，キリギリス科）富山県に産す

著者	鈴木 邦雄，板倉 範枝
雑誌名	富山市科学文化センター研究報告
号	7
ページ	95
発行年	1985-03-20
URL	http://repo.tsm.toyama.toyama.jp/?action=repository_uri&item_id=502

短 報

クツワムシ(直翅目, キリギリス科) 富山県に産す

鈴木邦雄・板倉範枝
富山大学教養部生物学教室

クツワムシ *Mecopoda nipponensis* DE HAAN は、本州(福島県以南)・四国・九州・対馬に分布するが、富山県からは過去45年程確実な記録はない。富山県昆虫研究会編(1979)の『富山県の昆虫』にも、目録中に挙げられているものの、中村(1938)および田中(1971)の2論文が引用されているのみである。中村の論文は、7科59種の直翅類の種名リストで、その中に本種も挙げられているが、いずれの種についても具体的な採集データは全く記されていない。田中(1971)は、中村の論文を引用したにすぎない。しかし、田中は、その際「婦、音川(中村)」と産地名を記している。これは、田中が、中村のリストの基礎となった標本を直接見る機会があって、その折、産地をメモしたものによるのではないかと推定される。いずれにせよ、富山県下からの本種の記録は、具体的なデータの記されていない中村のもの以外、今日迄確実な報告はないものと思われる。

筆者らは、1984年9月下旬、婦負郡八尾町で本種を採集したので報告する。標本は、富山市科学文化センターが所蔵する。

婦負郡八尾町三田、1♂(褐色型)、1984年9月28日、鈴木邦雄採集。(図1)

採集した場所は、八尾町三田の集落より赤江川の支流沿いに入った丘陵の斜面で、当日は他に数個体の鳴声を聴いた。ただし、鳴声を聴くことのできたのはかなり限られた一画

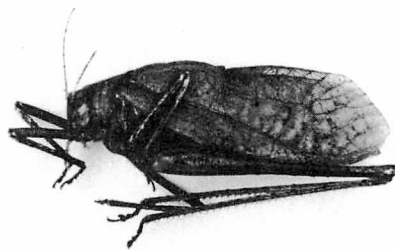


図1 クツワムシ♂(褐色型)

だけで、約一週間後に同地を訪れた時には全く鳴声を耳にすることはできなかった。瀬川哲夫氏によれば、以前より山田村付近には本種が生息しているらしいとの情報があり、何度か調査もされた由であるが、今日迄鳴声を聴かれたこともなかったという。筆者の一人鈴木も、八尾町・山田村・婦中町一帯の丘陵地帯を過去10年間ほどかなり頻繁に歩いているが、これ迄本種の鳴声に接した経験はない。なお、山口(1965)は、新潟県柏崎地方に本種の産することを報じており、これが日本海側のほぼ北限ではないかと思われるが、現在も生息しているかどうかは定かではない(山口は、学名にタイワンクツワムシのそれを当てている)。

末筆ながら、文献等について、富山県昆虫同好会の田中忠次・水野透両氏並びに富山市科学文化センターの根来尚氏の御助力を得た。富山市萩浦小学校の瀬川哲夫氏からは興味深い情報を提供していただいた。以上の方々に深謝の意を表する。

文 献

- 中村誠喜, 1938. 富山県産直翅目目録.(謄写刷, 自刊). 6頁.
田中忠次, 1971. 富山県産昆虫目録.(自刊). 242頁.
富山県昆虫研究会編, 1979. 富山県の昆虫, 富山県. 545頁.
山口弘人, 1965. 柏崎地方の直翅系昆虫概観. 新潟県生物教育研究会会誌, 2: 64-68.